

# HCC TIMES

Vol.222  
2021 12

<https://npo-sgh.org>

# ほうせんかCOVID-19 コンプレックス (HCC) 病院一体運営型 宿泊療養施設 開設

2021年11月15日(月)、吉村洋文大阪府知事より、発表がありました通り、医療法人成和会北大阪ほうせんか病院では、新型コロナウイルス感染症「第6波」に備え、病院看護師による健康観察や24時間の診療体制、病院への搬送体制を備えた施設として106室の「病院一体運営型宿泊療養施設」を開設することとなった旨、様々なメディアに取り上げていただきました。

- ・新聞 産経新聞、読売新聞、朝日新聞、日経新聞 等
- ・TV NHK総合「おはよう日本」/ 関西テレビ「報道ランナー」/ 読売テレビ「関西情報ネットen」  
毎日放送「よんチャンTV」/ テレビ大阪「やさしいニュース+」 等



宿泊療養施設とは、新型コロナウイルス感染症の軽症者等の療養の為に都道府県が準備したホテル等のことを指します。大阪府では現在2021年11月15日時点、31ホテルで8,408室を宿泊療養施設として確保しています。既存のホテルでは基本的に大阪府がホテルを二棟借りし、そこで療養における生活支援をホテル従業員等が担い、医療に関する健康観察等の部分を看護協会の看護師等に委託して実施するというスキームです。また最近では「診療所型」というホテル内の画を診療所化して簡易な検査や処置ができるようにしているホテルや、「往診



NPO法人 SG博友会  
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号  
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552  
編集元 HCC事務局 石倉慎也

型」という定期的に医師が往診して処置等を実施してきているホテルも一部誕生してきました。しかしいざいざにしてもホテル内の看護や必要時の医師による診療、状態悪化時の入院先の確保調整や確保先の病院、またそれに伴う搬送等、全てが別々の機関で行なっているのが現状で、調整には多くの時間や人員(労力)を要しています。実際に過去の感染拡大時には調整に時間を要することで、更に病状が悪化した状態で病院へ到着するケースが多く発生し、各医療機関でも課題の一つであると言われてきました。そこで今回、新型コロナウイルス感染症患者を多く受け入れ対応してきた当法人に対し、大阪府より新たな提案を含めての検討依頼があり、大阪府と

絡に今後の対応策を検討してまいりました。結果、大阪府初となる新たな「病院一体運営型宿泊療養施設」を開設することになり、運営を当法人で担うことになりました。こちらは、宿泊療養施設への健康観察・医療提供、病院の搬送等の全てを一体運営



として当法人が実施することとなります。具体的には、新大阪駅近くにある東横INN(128室のホテル)を当法人が二棟借りし、ホテルには当院の新型コロナウイルス感染症病棟で勤務する看護師をローテーションで常時配置、診療が必要な際には当院の病棟医師がオンライン診療等を実施します。またその診断結果により、ホテル内での簡易的な処置で対応可能な場合はホテル常駐看護師による処置で対応し、病院での検査や高度な処置、入院が必要な場合は、病院の救急車に当院へタイムリーに搬送(約20分)、対応するといったスキームです。こちらを二つの機関で体運営することににより、療養者に対してタイムリーかつワンストップで対応することが可能となり、早期治療、重症化予防を図ることが出来ます。また入院後に軽快したものの、療養期間としてはまだ必要な場合はホテルへ逆搬送し、病院ベッドを空けて病床逼迫を予防することも可能です。このように最小の資源(医療従事者、設備環境)で最大の成果(重症化予防、早期治療、病床逼迫防止)が得られる「生産性」という観点では、感染拡大時の対応のポイントとして非常に重要な視点であると考えています。この新たな自立と自由度の高いスキームが今後の万の感染拡大時にしっかりと社会に貢献できるように万全の体制で臨んでまいりたいと思

います。今後ともご支援ご協力のもと、宜しくお願ひ申し上げます。

記者・医療法人成和会  
運営本部長 田中 彰宏

10月28日(木)、認知症ケアPJ主催「第1回グリーンオアシスの会」を開催いたしました。グリーンオアシスの会とは、認知症を有する方を在宅でサポートされるご家族の悩み事を共有し、少しでも気持ちがやすらぎ、心を軽くしていただく事を目的とした認知症家族の会です。「グリーン」は豊泉家のシンボルでもある、そとが「屋根のカラー」から、そして「オアシス」とは日々懸命にサポートをしておられる中で、ほっと気がやすらぐ場所になればと願ひ命名しました。



第1回である今回はデイサービスセンター豊泉家 桃山台とデイサービスセンター豊泉家 北緑丘をご利用中のご家族1名、総勢5名のご家族に参加いただきました。まずは認知症ケアPJのリダーである北緑丘コミュニティ西脇麻衣コミュニティ長より開会の挨拶と趣旨説明を行い、第1部では社会福祉法人福祥福祉会 阿久根賢理事長より「認知症に関する講座」として参加者の皆様へ認知症に関する知識をお伝えさせていただきました。第2部では、座談会と称して、自己紹介と合わせてお人づつお話しいただきました。認知症の進行により日常生活活動も難しくなっている中、介護の拒否もあり日々試行錯誤している事や、家族から誤解されている事や、家族の責を背負ってしまう、サポーターとして思うところ、サポーターとしてご家族の生きたら、苦しさを感じ、ご自身の気持ちを感じ、ご自身に打ち明け

て下さりました。また、他の方の話を聞きながら涙される場面もありました。一方で、デイサービスとご家庭の様子が違う事、ちょっとした一言でくさってしまう事等、全員が「わかるわかる(笑)」と共感し、笑顔になる場面もありました。

このグリーンオアシスの会は、今後、毎月1回開催予定です。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

記者・認知症ケアPJ  
彦阪 拓

ご家族同士で分かり合える事、共感できる事もたくさんあった様子で、座談会後の感想では皆様より「また参加したい」というお声も頂戴しました。この会を立ち上げた意義を感じ、事ができ、最後の参加者全員揃っての記念撮影を行い、ご家族の皆様も気持ちを少し吐き出せたからか、始まる前よりも晴れやかな笑顔になっていました。認知症を有する方が、よい在宅生活を継続していくためには、サポートされるご家族の健康心が欠かせないものと考えます。私たちが「グリーンオアシス」の会を通して、認知症を有する方、またご家族の皆様が心穏やかに生活できる様、少しでもそのお手伝いができればと考えています。



グリーンオアシスの会発足



2021年10月度豊泉家大賞・フェロー大賞 月間賞

豊泉家大賞

豊泉家フェロー大賞

一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部

一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部です。豊泉家職域接種を実施するにあたり、他チームと連携を図ることで、フェローの家族を支援する...



一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部

記者：最後に、今後の目標を教えてください。西田：フェローはもろもろのこと、豊泉家のサービスをご利用いただいている皆様にも喜んでいただけるようサービスを創り上げてまいります。

MC(医療)ドメイン

ACC(介護)ドメイン

医療法人成和会 北大阪ほっせんか病院 診療部 中井 登雄。豊泉家グループとして取り組んだ茨木市のワクチン集団接種と豊泉家職域接種において連日ご対応いただきました。



医療法人成和会 北大阪ほっせんか病院 診療部 中井 登雄 医師

記者：最後に、今後の目標を教えてください。中井：今回の新型コロナウィルスのワクチン接種は前例が無く、様々な情報が不足して...



社会福祉法人 福祥福祉会 北緑丘コミュニティKCC 菅田 知奈 チームスリー

記者：最後に、今後の目標を教えてください。菅田：チームの目標である「在宅生活の継続のために何が出来るか」を考えた利用者ニーズに対して既存サービスの改善や新しいサービスの提供を行なっていきたいです。

11月6日(土)、7日(日)豊泉家GUESTHOUSE若狭屋奥池にて、2021年度新卒フェローフォローアップ研修を開催しました。

豊泉家グループ代表 田中成和会長より「未来の豊泉家を担う若手フェローへ」基本理念実現...をテーマに、トリアル&エラーと三相(相互信頼相互支援相互進化)の重要性を中心に...

最後に、一般財団法人SF豊泉家 松浦洋介経営戦略室長より「問題解決能力 現状把握・実行改善」をテーマにご講話いただいた後、フェローとのディスカッションを行いました。

記者：川合 沙代子

2021年度新卒フェローフォローアップ研修

阿久根賢統統合運営本部長より「豊泉家が求める人財」についてそれぞれ講話いただき、豊泉家グループで働く上での考え方についてお伝えいただきました。



モラロジー研修会

11月4日(木)、北緑丘コミュニティ6階フリールームにて、モラロジー研修会を開催いたしました。

モラロジー研修会は高いモラル(道徳)とロジ(学)の習得を目的に開催しております。日々の行動の基となる心づかい、接遇の基本となる『感謝』『思いやり』『自立心』を学べる場となっております。



記者：山崎 和舞

落語会

10月29日(金)、天満天神撃昌亭にて、豊泉家グループCEO(チーフエンターテインメントオフィサー) 四代目桂春園治師匠による落語会が開催されました。



記者：梅本 大地



豊泉家コムレイズ

10月24日(日)、豊泉家グループ唯一の部活動である豊泉家コムレイズが、大門公園野球場にて開催されており、第74回豊中市野球選手権大会の準々決勝に臨み、まず対戦する大阪レジスタンスに初回3点を先取されるものの、チーム力で追いつき、7点を奪取。このまま勝利かと思われた最終回に同点へ追いつかれてしまい、大会のルールにより、同点終了時はメンバール全員でのじゃんけん勝負となり、惜しくも勝利を逃す結果となりました。

今期で監督から退く加藤篤志監督からは、いい試合というより、ハラハラドキドキの試合だった。しかし来期に期待がかかるビジョンが見えた」と評価をいただきました。豊泉家グループ代表 田中成和会長兼オフィサーからは「個々のプレーに触れた上で、チームが若返り、素晴らしいチームとなりつつある。来期は新監督の下でチームプレーを大切にし、更なる飛躍を遂げたい」と激励の言葉をいただきました。今期のコムレイズはベスト8という成績となりました。しかし来期こそは増田直記新監督の下、新生コムレイズがこの雪辱を晴らすと信じております。尚、現在コムレイズでは多数の新入部員を迎え、レギュラーの刷新中となります。興味のあるフェローは育成部までお声掛けください。

記者：梅本 大地

CCRC豊泉家 芦屋山手 最新情報

豊泉家グループ初となる、兵庫県芦屋市に建設中のCCRC豊泉家 芦屋山手(ナースィングホーム)豊泉家 芦屋山手(79床)介護型ケアハウス豊泉家 芦屋山手(80床)について、現在、入居者の募集を行なっており、市報「広報あしや」などの紙媒体をはじめ、幅広く実施中です。ホームの詳細については、CCRC豊泉家 芦屋山手の特設ページをご覧ください。



CCRC豊泉家 芦屋山手特設サイトもご覧ください。



スカイクラブ

アフタヌーンハロウィン

10月28日(木)、ほうせんか病院緩和ケア病棟にて、ボランティアさんとフェローたちで小さなハロウィンパーティを開催いたしました。張り切っているのは、フェローとボランティアさん(笑)。

各媒体への掲載では、建設地をわかりやすくするようドローンで撮影した写真の使用や様々な特徴の紹介など、こだわりが詰まっております。引き続き、CCRC豊泉家 芦屋山手の魅力をお伝えさせていただきますので、お楽しみに！

記者・東谷 祐子

ピーキッズだより

ハロウィン

10月26日(火)、「ハロウィンおたのしみ会」を行いました。アンパンマンとジャックオウランタンのお顔は、目・口鼻のパーツを自分たちで貼りつけて作ったアンパンマンの被りもの、赤いマントを着てかわいいうち。お手製のジグザクオウランタンのお散歩バッグを持って、豊泉家桃山台コミュニティまで、さあ出発！風でマントをなびかせ、道行く人に「かわいいわねえ」と声を掛けていただきながらホームに到着しました。「ハッピーハロウィン」おぼきさうん出ておいでよ」と大きな声で歌っている。...

この日用意したスイーツはハロウィンにちなんで、かぼちゃのプリンや皆様においしく召し上がっていただきました。患者様と一緒に、素敵なハロウィンパーティを愉しむことができました。

記者・山本 咲千代



日本福祉文化学会 オンライン全国大会 10月30日(土)、日本福祉文化学会開催の「第32回日本福祉文化学会オンライン全国大会」コロナ禍と福祉文化1次への課題と挑戦の第1日目、特別講演として「認知症ケアのあり方について」をテーマに、豊泉家グループ社会福祉法人福祥福祉会阿久根賢一理事長が登壇されました。1時間ほどの講演では、ご自身の著書である「認知症イノベーション」にも記された、実際の現場での体験を含めながらご講演いただきました。優しさや思いやりだけではなく専門性の高い対応の不可欠さや、思い込みではないケアの在り方など、介護の現場を客観的に研究分析した結果、何が必要かといった必要性や、理解と実践の一致に気付いたこと等をお話いただきました。最後に「今後が増え続けている認知症を有する方や支援する方が幸せになれるよう願いを込め、邁進していきたくお言葉には、豊泉家ですなごするすべての人々への「想い」を感じることができました。

豊泉家トピックス

日本福祉文化学会 オンライン全国大会

2021年9月〜10月で約1,200名へ実施した「豊泉家職域接種」について、職域接種運営事務局の統括責任者として奮闘された、一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部 立野淳司部長にお話を伺いました。

立野：短期間での準備と1200名もの接種希望者を募集する事でした。接点、希望者募集は、外部と接点の少ない部署の為に、豊泉家グループのNPO法人SG博友会を中心に地域の方への周知、広報戦略室にホームページの情報掲載を依頼しました。医療の事は医療法人に依頼し、それぞれ専門分野に依頼することで時間最短を実現できました。自分たちでできることは、運営を取りまとめること、やることは変われど、普段行なっているイベントに、職域接種というイベントを成功させる事でした。記者：こだわったことがあれば教えてください。

記者・秋山 美佐

立野淳司部長のインタビュー。一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部 立野 淳司 部長。2015年入職。主な業務は、フェローに関わる教育研修・イベント企画運営・福利厚生など。

「豊泉家職域接種」特別インタビュー

職域接種の時は、1回目よりさらによくなりました！との想いで「待機場所を広くしたほうがいいのか?」と、全員が主体的に考え、行動していました。さらに、豊泉家グループの認知拡大の為、2回目の接種時にはノベルティもお渡ししました。

立野：無事に終了出来た要因はなんだったかと思えますか? 同時に「やるしかない」とも思いました。記者：今回の運営を任せられた時はどう思いましたか? 立野：実は「思いやられるのか?」と不安がありました。記者：どんなところが大変でしたか? 立野：短期間での準備と1200名もの接種希望者を募集する事でした。接点、希望者募集は、外部と接点の少ない部署の為に、豊泉家グループのNPO法人SG博友会を中心に地域の方への周知、広報戦略室にホームページの情報掲載を依頼しました。医療の事は医療法人に依頼し、それぞれ専門分野に依頼することで時間最短を実現できました。自分たちでできることは、運営を取りまとめること、やることは変われど、普段行なっているイベントに、職域接種というイベントを成功させる事でした。記者：こだわったことがあれば教えてください。

立野：携わってくださった方に、感謝の気持ちをお伝えたいです。本堂にありかとうございます。今回約1,200名の方の接種ができたのは、全員が主体的に協力し合い、「オール豊泉家」で臨んだからだと考えます。地域へ貢献出来た事を考えると、今回の職域接種は成功だと言っているのかなと思います。

記者・広報戦略室 東谷 祐子



立野淳司部長のインタビュー。一般財団法人SF豊泉家 人財創造本部 育成部 立野 淳司 部長。2015年入職。主な業務は、フェローに関わる教育研修・イベント企画運営・福利厚生など。

豊泉家フェロー討報 2021年11月13日(土)、社会福祉法人福祥福祉会の前理事長であります、福井敬二(ふくいひろつぐ)フェローが逝去いたしました。(享年75歳)ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。福井敬二前理事長は2008年より9年間、社会福祉法人福祥福祉会の2代目理事長職を務め、福祉の発展に尽力されました。いつも笑顔で温かくフェローを見守り、そして優しくお声をかけていただき、我々フェローは多くのことを学ばせていただきました。豊泉家グループ全フェローが御遺徳を偲び、御遺志を受け継ぎ、感謝の想いを持って事業を成長・発展させてまいります。